

科目名	ビジネス学部(経済・経営・法を含む)・科目12(非常勤)	出席・回答率 (出席・回答者数/登録者数)	34.8%
			(8/23)

設問項目別回答率

【I】

(1)あなたは、この授業にどの程度出席していますか。

ア. 毎回出席している イ. 大体出席している ウ. 半分ぐらい出席している エ. あまり出席していない

ア	0.0%	イ	42.9%	ウ	57.1%	エ	0.0%
---	------	---	-------	---	-------	---	------

(2)あなたはこの授業に積極的に取り組んでいますか。

ア. かなり積極的である イ. やや積極的である ウ. やや消極的である エ. かなり消極的である

ア	0.0%	イ	50.0%	ウ	50.0%	エ	0.0%
---	------	---	-------	---	-------	---	------

(3)あなたは、この授業に関する自学自習をしていますか。

ア. かなりしている イ. ある程度している ウ. あまりしていない エ. 全くしていない

ア	12.5%	イ	25.0%	ウ	25.0%	エ	37.5%
---	-------	---	-------	---	-------	---	-------

(4)シラバスは授業の目標、内容、評価法などを示していますが、この授業を履修するのに役立ちましたか。

ア. かなり役立った イ. ある程度役立った ウ. あまり役立たなかった エ. 全く役立たなかった オ. 読まなかった

ア	12.5%	イ	50.0%	ウ	12.5%	エ	0.0%	オ	25.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------	---	-------

(5)この授業内容のボリューム(分量)は適当ですか。

ア. かなり多い イ. やや多い ウ. 適当である エ. やや少ない オ. かなり少ない

ア	0.0%	イ	0.0%	ウ	100.0%	エ	0.0%	オ	0.0%
---	------	---	------	---	--------	---	------	---	------

(6)この授業の難易度は適当ですか。

ア. かなり難しい イ. やや難しい ウ. 適当である エ. やや易しい オ. かなり易しい

ア	0.0%	イ	12.5%	ウ	87.5%	エ	0.0%	オ	0.0%
---	------	---	-------	---	-------	---	------	---	------

(7)担当の先生の説明は分かりやすいですか。

ア. かなり分かりやすい イ. やや分かりやすい ウ. やや分かりにくい エ. かなり分かりにくい

ア	14.3%	イ	57.1%	ウ	28.6%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(8)テキストやレジュメなど教材はこの授業の理解に役立っていますか。

ア. かなり役立っている イ. ある程度役立っている ウ. あまり役立っていない エ. 全く役立っていない

ア	12.5%	イ	50.0%	ウ	25.0%	エ	12.5%
---	-------	---	-------	---	-------	---	-------

(9)担当の先生は授業にあたり、毎回どの程度準備していると思われるですか。

ア. かなりよく準備している イ. ある程度準備している ウ. あまり準備していない エ. 全く準備していない

ア	12.5%	イ	62.5%	ウ	25.0%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(10)先生の授業に対する熱意や意欲は感じられますか。

ア. かなり感じられる イ. ある程度感じられる ウ. あまり感じられない エ. 全く感じられない

ア	28.6%	イ	71.4%	ウ	0.0%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	------	---	------

(11)この授業に関する受講生の声(意見・質問)に対して、教員から何らかの説明がありましたか。

ア. かなり十分な説明があった イ. ある程度説明があった ウ. あまり説明がなかった エ. 全く説明がなかった

ア	0.0%	イ	57.1%	ウ	42.9%	エ	0.0%
---	------	---	-------	---	-------	---	------

(12)この授業を受けて、学習意欲は刺激されますか。

ア. かなり刺激される イ. ある程度刺激される ウ. あまり刺激されない エ. 全く刺激されない

ア	0.0%	イ	100.0%	ウ	0.0%	エ	0.0%
---	------	---	--------	---	------	---	------

(13)この授業の内容は理解出来ますか。

ア. かなりよく理解できる イ. ある程度理解できる ウ. あまり理解できない エ. 全く理解できない

ア	14.3%	イ	71.4%	ウ	14.3%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(14)この授業に満足していますか。

ア. かなり満足している イ. やや満足している ウ. やや不満である エ. かなり不満である

ア	14.3%	イ	71.4%	ウ	0.0%	エ	14.3%
---	-------	---	-------	---	------	---	-------

(15)自分を作り上げる努力をするうえで、この授業は役立ちますか。

ア. かなり役立つ イ. ある程度役立つ ウ. あまり役立たない エ. 全く役立たない

ア	12.5%	イ	62.5%	ウ	25.0%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(16)あなたはこの授業を他の学生にも薦めたいですか。

ア. ぜひ薦めたい イ. できるだけ薦めたい ウ. あまり薦めたくない エ. 薦めたくない

ア	12.5%	イ	75.0%	ウ	0.0%	エ	12.5%
---	-------	---	-------	---	------	---	-------

【II】

[A]この授業を履修した動機は何ですか。当てはまるものを全て選びマークしてください。

(17)専門性を高めたいから (18)興味・関心を持ったから (19)友達・先輩が取ったから
(20)時間割上の都合から (21)簡単に単位が取れそうだから (22)必修だったから

(17)	25.0%	(18)	37.5%	(19)	25.0%
(20)	62.5%	(21)	12.5%	(22)	25.0%

[B]あなたがこの授業で工夫してもらいたいと思うものを全て選びマークしてください。

- (23)ビデオなど視聴覚教材の活用 (24)power pointなどのIT教材の活用 (25)上手な板書
(26)話題や例示の妥当性 (27)この中にはない (28)満足している

(23)	37.5%	(24)	12.5%	(25)	12.5%
(26)	25.0%	(27)	50.0%	(28)	25.0%

[C]この授業で先生とどのような手段で交流をはかりたいですか。該当するものを全て選びマークしてください。

- (29)教室での対話 (30)教室外での対話 (31)e-mail (32)オフィスアワー
(33)レポートによる感想や意見 (34)この中にはない (35)その他

(29)	37.5%	(30)	12.5%	(31)	25.0%	(32)	12.5%
(33)	37.5%	(34)	75.0%	(35)	12.5%		

①自己評価

本年度の講義は、産業革命期の綿工業を主要な題材とし、現在と過去という異なる時空の相互交流をふまえながら、今あるところを的確に知り、21世紀の経済的諸問題に歴史的観点から相応に対処できるよう、経済史の基礎的理解を深化させることを、目標としてきた。授業のアンケート集計結果からすると、「説明のわかりやすさ」、「ボリューム」、「難易度」、「熱意」、「理解度」、「満足度」など、ほとんどの項目において高いパーセンテージをキープしていることは、おおむね予想を超えた評価であるというのが実感である。ただし、「学習意欲を刺激されたか」という項目では、刺激するように工夫したつもりであったが、思っていたより低い評価であった。これからは、受講生らの学習意欲をいっそう刺激するよう努力し、かれらが社会に出て自立していくために必要な知識体系を、経済史的観点からできるだけ供給していくようにしたい。

②評価に対する教員の思い

今回のアンケート結果は、予想を超えて高い評価であった。しかし、そうした高い評価のアンケート結果は、今頃の学生たちの寛容的精神がそうさせたのか、あるいは、アンケートの対する同一行動パターンが存在するのか、いずれかが関係していることを窺わせるように思われる。実施したレポート試験の結果からすると、講義内容をそれほど理解しているようには思われぬのが実感である。世間では、効率性や即効性がもてはやされているが、長い目で見ると、じっくりと落ち着いて自立していくために必要な知識体系を構築することが、大切であるということをも再認識してほしい。様々な情報が氾濫する中で、経済史を学ぶことによって、自分なりにしっかりと考え、情報を的確に処理するだけの知力を、大学生時代に涵養してほしいと願うばかりである。

③より充実した授業のために・・・自己評価を踏まえての目標と課題

一般的に歴史系科目は疎遠に思われがちであるが、経済史の講義において採りあげる題材は、実際には我々が生きている現代社会の経済的諸問題と重なるところがきわめて多い。企業組織、ベンチャー産業、固定資本、金融恐慌、流通ネット、消費、その他、様々な現代における経済的諸問題は、産業革命期においても存在していたことからすると、我々の身近な問題を採りあげ重ね合わせることによって、受講生らの学習への刺激を与えながら、マスメディア的な表層的理解ではなく、深く掘り下げた深層的理解をするよう、講義においては導いていくようにしたい。また、学生らが授業において何を求めているのか、教室内外での対話の輪を広げることによる的確に捉え、そうした欲求にできるだけ対応し、学生らの自立に役立つような(自ら考えるための)知識体系を提供するようにしていきたい。

※①②③に記載された内容については、学生に対しては、科目名・教員名を記載し学内webにて公表します。
学外への公表については、教員名を消し、科目名を(例)「学部・科目1」という表記にして公開します。